

第11回 国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

今、我が国の 遺伝子細胞治療の 課題を整理する

2021 1.21 木 9:50~15:50

WEBにて開催(詳細はHP参照)

参加費

一般:3,000円 学生:無料(要・学生証提出) 企業:5,000円
※フォーラムHP(下段)にて受付中

PROGRAM

- | | | |
|-------------|--|---|
| 9:50~10:00 | 開催の辞 | 小野寺 雅史(国立成育医療研究センター) |
| 10:00~11:00 | 国内でのGLP非臨床/臨床用ウイルスベクターの製造
・概論及び最近のトピックス
・ウイルスベクター製造プロセスの実情 | 岡田 尚巳(東京大学医科学研究所)
内田 和久(神戸大学) |
| 11:00~12:00 | 医療側でのカルタヘナ法第一種使用規程の対応
・アデノ随伴ウイルスベクター
・アデノウイルスベクター | 中國 正祥(国立成育医療研究センター)
小島 隆嗣(国立がん研究センター東病院) |
| 12:00~13:00 | 共催セミナー
・タカラバイオ株式会社 | |
| 13:00~14:00 | 遺伝子治療用製品の有効性・安全性評価
・CAR-T(キムリア)
・SMA(ゾルゲンスマ) | 内山 徹(国立成育医療研究センター)
須磨崎 亮(茨城県立子ども病院) |
| 14:00~15:00 | 今後の遺伝子細胞治療の課題
・遺伝子治療用製品の薬価の妥当性
・PMSを含めた患者フォローアップ | 岡崎 利彦(大阪大学)
小牧 宏文(国立精神・神経医療研究センター) |
| 15:00~15:40 | 特別講演
・今後の我が国の遺伝子細胞治療の方向性 | 小澤 敬也(自治医科大学) |
| 15:40~15:50 | 閉会挨拶 | 奥山 虎之(国立成育医療研究センター) (敬称略) |

[主催] 国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会
[共催] NPO法人日本ライソゾーム病研究センター

[後援] 日本医療研究開発機構(AMED)委託費「難治性疾患実用化研究事業」(研究代表者:小野寺雅史)
厚生労働科学研究難治性疾患制作研究事業(研究代表者:奥山虎之)
日本遺伝子細胞治療学会

運営事務局 第11回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム(株式会社インターグループ内)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館4F TEL: 03-5549-6909 FAX: 03-5549-3201 Mail: forum-secret@intergroup.co.jp

<http://www.gt-forum.net/forum/11th/>